

私たち航空連は ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の即時停止と撤退、 外交交渉による平和的な解決を求めます

ロシアは 2022 年 2 月 24 日、隣国ウクライナへの軍事侵攻に踏み切った。現在もウクライナ各地でロシア軍とウクライナ軍の戦闘が続いており、多くの市民が犠牲になっていると報じられている。

ロシアの軍事侵攻は、国連加盟国の主権、独立、領土の尊重、国際紛争の平和的手段による解決、武力行使や武力による威嚇の禁止などを明記している国連憲章に、明らかに違反する行為である。

航空産業においては、新型コロナウイルスのパンデミックにより旅客需要の激減に伴う大幅な減便や運休が続いている。

こうした状況に加えて、今回の軍事侵攻により、安全運航の確保のため、また各国の経済制裁とロシアの対抗措置により、ウクライナ領空やロシア領空の飛行ができなくなり、日欧間の運航については、ロシア上空を迂回するルートで運航するかまたは運休するかの対応が迫られるなど、国際線の貨客輸送にも多大な影響が及んでいる。

航空産業は、平和がなければ成り立たない産業であるとともに、世界各国の都市と都市とを結び、人と人、そして文化の交流の架け橋として、世界平和に貢献する産業である。

私たち航空労組連絡会は、世界平和を希求するとともに、民間航空の安全確保と発展を願う立場から、ロシアによる軍事侵攻の即時停止と撤退、外交交渉による平和的な解決を強く求めるものである。

また同時に日本政府に対しては、対話と協力の外交努力を強め、事態の解決に力を注ぐよう強く求めるものである。

2022 年 3 月 9 日
航空労組連絡会